

年 度 評 価 シ ー ト

課名 中山間地振興課

施設の名称 <u>日影沢親水園</u>	指定管理者名 <u>企業組合 魚魚の里</u>
1 履行状況	
<p>(1) 目標達成</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 3年後（令和7年度）の利用者数 目標値 4,700 人、実績値 4,798 人（前年度 3,858 人） 令和5年度時点での達成率 102.1% 【参考】 令和元年度（コロナ前） 実績値 3,801 人</p> <p>(2) 施設利用状況</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 利用者数 4,798 人（前年度 3,858 人）（前年度比 124.4%）</p> <p>(3) 人員配置状況</p> <p style="margin-left: 20px;">正規職員：1人 パート：平日1人、土日祝日1～6人 ※繁忙により変動</p> <p>(4) 業務実施状況</p> <p style="margin-left: 20px;">静岡市日影沢親水園条例第13条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業は次のとおり。 ア 入園管理 イ 利用者に対する業務 ウ 施設設備の維持管理業務 ほか</p> <p>【検証・分析等】</p> <p style="margin-left: 20px;">令和5年度の利用者数（竿数）は4,798竿で、前年度の3,858竿から約24.4%増加した。これは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったことに加え、ゴールデンウィークやお盆期間に好天であったことなどから、客足が戻ってきたことよると推察される。</p> <p style="margin-left: 20px;">施設の維持管理業務、施設の利用に関する業務を実施したほか、釣り池給水用の取り口の整備などを行い、利用者の快適な利用環境の整備に努めている。また、梅ヶ島新田温泉と協力し合同イベントを実施したり、赤水の滝ライトアップ地域のイベントに積極的に参加したりするなど、魚魚の里の周知を図るとともに、梅ヶ島地域全体の振興に寄与した。</p> <p>【確認結果】</p> <p>○：協定書等の内容が適正に履行されている。</p>	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

魚が釣れず楽しくない。

回答・対応等

釣り池をこまめに巡回、声掛けを行い、必要に応じて、実演を交えてアドバイスするなどの対応を積極的に行った。

【検証・分析等】

軽微な要望に対しては即時に対応し、料金設定等、即時に対応ができないものについては、利用者に対して丁寧な説明を行うとともに必要に応じて市と協議を行うなど、良好な対応がなされているといえる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設運営の参考とするため、利用者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：54件 「満足」「やや満足」と回答した割合

- ① 設備について 85.2%（前年度 88.9%）
- ② スタッフについて 85.2%（前年度 -%）※質問項目の変更

【検証・分析等】

2項目の平均値で算出した満足度は85.2%（前年度88.9%）であり、良好な評価を得ている。また、スタッフの対応については「やや不満」「不満」が0回答で、利用者に対して適切な対応ができていることがわかる。

来訪者（アンケート回答の範囲に限る）の年齢構成については、10代までの構成比が全体の約36%と、親子・家族連れで楽しめる施設となっていることが読み取れる。また、20代も全体の約20%を占めており、梅ヶ島地区において、若年層に対して訴求力のある貴重な観光コンテンツとなっていることが分かる。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、支出超過等やや課題が見られる。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、今年度から経理を担当する事務所を変更し、経理事務の改善に取り組んだものの、利用者の増加に対応するための人員配置の増に

よる人件費の増加や仕入れ値の上昇等によって、200万円の赤字となった。

引き続き経理事務の改善に取り組むとともに、支出の圧縮や計画的な予算執行、閑散期における収入の増加を図るための集客策の実施に取り組む必要がある。

【確認結果】

△：直ちに施設運営に影響を及ぼすほどではないが、今後の安定的な施設運営に向けて改善すべき点がある。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

令和5年度は、新型コロナが5類に移行したことや、夏場の好天等により客足が戻ってきたことから、前年度に比べて利用者数が約25%増加した。

しかしながら、収支状況については昨年度に引き続き大幅な赤字となり、物価高騰や人件費の増額などが主な理由となっているとはいえ、経理状況については前年度と比較して改善しているとは言い難い。

当該施設については、利用客からは概ね高く評価されており、また梅ヶ島地区において特に若い世代の利用者が多い施設である。集客に向けた様々な取組を積極的に行い利用客の増加を目指すとともに、運営体制の見直しや支出の精査、また令和5年度中に新たに導入した券売機及びキャッシュレス決済の活用などにより経理状況の改善を図り、梅ヶ島全体の活性化に向けて取り組むよう期待したい。

【評価結果】

△：やや問題のある管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。